

川内原子力発電所対策調査特別委員会記録

○開催日時

令和8年3月16日 午前10時～午前10時39分

○開催場所

第3委員会室

○出席委員（10人）

委員長	山元剛	委員	坂口健太
副委員長	森永靖子	委員	坂口正幸
委員	井上勝博	委員	富吉雄二
委員	今塩屋裕一	委員	上野真一
委員	成川幸太郎	委員	小林健

○その他議員（3人）

議員	森満晃	議員	松澤力
議員	山中真由美		

○説明のための出席者

未来政策部長	下門隆嗣	次長（危機管理担当）	遠矢一星
企画政策課長	中俣哲男	防災安全課長	前田隆盛
		原子力安全室長	宮田高敬
市民安全部長	上戸理志		

○事務局職員

事務局長	田代健一	課長代理	上川雄之
議事調査課長	久米道秋		

○審査事件等

1 調査事項

令和7年度鹿児島県原子力防災訓練実施内容について

2 審査事件

陳情第1号 乾式貯蔵施設建設に関連して六ヶ所再処理工場の現状について調査と公表を求める陳情

○会議の概要

1 川内原子力発電所の安全対策及び関連する諸問題に関する調査

- 令和7年度鹿児島県原子力防災訓練実施内容について

当局から、2月7日に実施された訓練について、220機関、約4,000人が参加し、概ね計画通りに遂行された旨の報告を受けた。今回の新たな試みとして、水引地区の親子連れによる避難講習への参加や、PAZ（予防的防護措置を講じる区域）における要配慮者の避難訓練が実施された。また、避難生活の環境向上を目的としたキッチンカーの導入、水循環シャワーの設置、原子力防災アプリを活用した受付訓練など、より実践的な内容について説明を受けた。その後、委員から「自衛隊ヘリコプターの運用に伴う騒音により、住民から大きな音に驚いたとの声があったのではないか」との質疑があり、当局から「地区会長や福祉施設等には事前連絡済みであり、直接の苦情は受けていない」旨の答弁があった。

また、委員から「避難行動要支援者への対応について、自力避難が困難な住民に対し、訓練の機会を捉えて実際に訪問・対話を行うべきではないか」との質疑があり、当局から「現在進めている訪問調査により、支援が必要な12名の詳細を把握している」旨の答弁があった。

これに関連し、当該調査は訓練とは別枠の一般業務として実施されているものの、今後は訓練の中で実際に訪問を行い、実効性を検証する体制を検討すべきとの意見が述べられた。

2 審査事件

陳情第1号 乾式貯蔵施設建設に関連して六ヶ所再処理工場の現状について調査と公表を求める陳情については、委員から「現状をさらに調査研究する必要がある」等の意見があり、継続審査とすることに決定した。

薩摩川内市議会委員会条例第 3 0 条第 1 項の規定により、ここに署名する。

薩摩川内市議会川内原子力発電所対策調査特別委員会

委 員 長 山 元 剛